

令和2年12月17日

本校保護者 各位

東根市立大富中学校
校長 寒河江 正人



冬季における安全な登下校について（お願い）

師走の候 皆様におかれましては、益々ご清栄のことと存じます。
また、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
さて、標記の件につきましては、12月11日付の通知にて既にお知らせしているところではありますが、今般、強い寒気の流れ込みによる連日の大雪により、通学路の状況が悪化しております。
つきましては、下記のとおり指導しますので、交通事故等の未然防止のため、ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

<ご家庭でもご指導いただきたいこと>

冬季の天候や積雪量等によって変化し得る通学路の状況に応じた対応

1. 危険が予測される場所を確認すること。
2. 安全な経路で通学すること。
3. 所要時間に余裕をもつこと。
4. 適切な防寒着や履物を着用すること。
5. 薄暮・日没後を想定し、反射材等を効果的に活用すること。

行雲流水

No.338 令和2年12月17日発行

危険回避の納得解を見つけ出そう

校長 寒河江 正人

降り続く**大雪**、4日目。

朝晩の**除雪**が日課となりました。

スノーダンプを押していると、早朝5時、我が家に新聞が届きます。

配達員に「雪降るなか、ごくろうさまです。」と声をかける。

「いやぁ、今日も降るねえ。」と声が返ってくる。最近の朝のひとコマです。

朝の通勤時間帯、学校前の通りは、今週ずっと**大渋滞**です。**信号無視**の車が増えました。路面は、**圧雪・凍結**。うっすらと**表面に水の膜**ができていた時は、特によく滑ります。多くのドライバーは、**視野が狭まり、前のめり**でハンドルを握り、**肩に力**が入っています。もしかしたら、イライラ、気持ちにも「ゆとり」が足りなくなっているのかもしれない。

それは、歩行者にも同じことが言えます。

歩道に積もった雪で歩きにくいし、滑ります。**足元に気をとられ、視野が狭く**なります。歩道がない道路は、除雪で寄せられた雪によって、**路側帯が埋まり、道幅が狭く**なります。その結果、**車道にはみ出して歩く危険を伴う**こともあります。

山形県警の「**やまがた110ネットワーク**」から配信されたメール送信文の内容によれば、「**県内大雪、スリップ事故多発!**」の見出し。

15日(火)は、県内で**167件のスリップ事故が発生**したとのこと。

昼中68件、夜間99件は、**今シーズン最多を記録**しました。

自分の命は、自分で守らねばならない。いかにすれば、安全に登下校できるでしょうか。

1. 生徒諸君の自宅と学校を結ぶ**通学路**は、どこを通る**ルート**が安全なのだろうか。
2. 事故の**危険が予測される場所**は、どんな状況で、**何か所**あるだろうか。
3. 安全に通学するためには、**何時に出発**すれば、余裕をもって通学できるのか。
4. 事故に遭わないためには、**どこで、何をチェック**しながら通学すれば安全なのか。
5. **防寒着や履物**は、安全上、適切か。日没後を想定して、**反射材の利用**は適切か。

さあ、ここからが「^{せいとしょくんじしん}生徒諸君**自身の納得解**」を見出す「^{たんきゅうてき まな}**探究的な学び**」です!!